

第九十回
帝國議會
貴族院

罹災都市借地借家臨時處理法案特別委員會議事速記録第二號

付託議案

○罹災都市借地借家臨時處理法案

○訴訟費用等臨時措置法の一部を改正する法律案

昭和二十一年七月十三日(土曜日)午前十時十七分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨリ罹災都市借地借家臨時處理法案特別委員會ヲ開キマス、前回大臣ヨリ提案理由ノ御説明ガアリ、且又政府委員カラ全面ニ互ツテノ御説明ガアリマシタガ、今日ハ豫定通り總括的ノ質問ヲ始めタ

○竹下豐次君 一昨日資料ノ提供ヲ御願ヒ致シマシタ處、私ノ期待シマシタ通りノ細カイ統計表ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ、一應之ヲ拜見シタノデアリマスケレドモ、固ヨリ此ノ表ヲ見タダケハ復興計畫ト云フモノヲ窺ヒ知ルコトガ出來ナイノデアリマス、處方現在審議中ノ法案ト復興計畫トハ是ハ非常ニ密接ナ關係ガアルヤウニ思ヒマス、法案ノ一條々全部細カク研究シタ譯デモゴザイマセヌケレドモ、モウ既ニ例ハ第五條トカ第十一條ニ規定シテアリマスル契約ノ期間ノ問題ト云フヤウナコトダケ捉メハマシテモ、復興計畫ガドウ云フコトニナツテ居ルカ、又ドウ云フ風ニ進ミツ、アルカト云フヤウナコトト離レラレナイ密接ナ關係ガアルヤウニ思フノデアリマス、就キマシテハ復興院ノ御方デドナタカオイデ願ヒマシテ、成ベク早イ機會ニ説明ヲシテ戴キマスナラバ、本案ヲ審議致シマスニ非常ニ參考ニナルト思

ヒマス、此ノ問題ハ各地方ニ依リマシテモ非常ニ狀況ノ違フコトデアリマスカラ、サウ細カイコトヲ一々御伺ヒシタイト云フコトハ御無理ト思ヒマスガ、大體ノ御話ヲ承ルコトガ出來タラ仕合セドモ存ジマス、委員長ノ方デ宜シク御取計ヒテ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵高木正得君) 御話ヲ致シマスガ、口今竹下君ノ御發言ノヤウニ、本案ハ復興院ノ復興計畫ト關聯シテ居リマス爲ニ、或適當ナ時期ヲ選ビマシテ、成ルタケ早ク復興院ノ然ルベキ方ヲ御呼ビシテ、復興計畫ニ付テノ御話ヲ御願ヒシタイト存ジマスガ、皆樣如何ニ御取計ヒ致シマセウカ

○委員長(子爵高木正得君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○委員長(子爵高木正得君) 御異議ナシト認メマス、然ラバ復興院ノ方ニ委員長ノ方カラ連絡致シマシテ、此ノ次位ニ復興院ノ説明ヲ聽クコトニシマス

○作問耕逸君 私人矢張り御發言ニ關聯シテ此ノ本法案ノ審議ノ上ニ於テ關聯シタ一般ノ實際問題ト致シマシテ、貸家ノ建設ノ獎勵助成等ニ付テ復興院當局ガ、政府トシテ如何ナル見解或ハ方針ヲ支持シテ居ラレカ、ソレニ付テ承知致シタイト云フ趣旨デ實ハ御伺ヒモ致シタイ、御答辯ヲ願ヒタイ爲ニ復興院總裁ノ御出席ヲ求メタイト斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、私ハ遲參致シマシテ、聴キ漏ラシマシタガ、只今ノハ復興院ノ總裁ノ復興一般狀況經過ニ付テ講演ヲ聽キタイト云フ御要求デゴザイマシタガ、私ハ答辯ヲ求メル爲ニ御出席ヲ願ヒタイ

○委員長(子爵高木正得君) 承知致シマシタ、今作問君ノ御希望ハ竹下君ノ御意見ト大體同ジ方向ノモノデアリマスカラ、早速復興院ノ方ニ委員長ノ方カラ交渉致シマシテ、成ルベク早イ機會ニ於テ復興院ノ總裁又ハ其ノ下ノ者ヲ此處ニ出席シテ戴キマスヤウニ取計ヒマス

○作問耕逸君 尙矢張り本法案ノ審議ニ關聯致シマシテ、家賃ノ一般ノ標準ニ關スル問題、地代ノ同様デアリマス、家賃、地代ノ一般ノ標準ヲ改訂シテ之ヲ實施セラル、意見ガアルカドウカ、ソレ等ニ關シテハ主管ガ厚生省ダト存ジマス、厚生大臣ノ御出席ヲ願ヒマス、ソレカラ同様本法案ノ審議ニ關聯シテ土地建物ノ賣買ノ代金ノ處理、是カラ自然賣買ガ大ニ制約サレテ居ルノデアリマス、是ハ臨時資金調整令並ニ其ノ施行規則等ノ實施ニ依ツテサウナルノデアリマスルガ、今日ニ於テモ尙サウ云フヤウナ制限ノ取扱ヲ繼續シテ行カレル特別ノ理由ガアルカドウデアアルカ、此ノ點ニ付キマシテ矢張り大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、併セテ兩大臣ノ御出席ヲ求メマス

○委員長(子爵高木正得君) 只今作問君ノ御申出ノ厚生大臣及大藏大臣ノ答辯ヲ求ラレル點ニ付キマシテハ委員長ノ方デ然ルベク取計ヒマス、チヨット申上ゲマスガ、作問君ノ今迄ノ御意見ノ中ニ地代、家賃、是ハ矢張り厚生省デナクテ復興院ニ屬スルサウデアリマス、今民事局長カラサウ云フヤ

ウナ御話ガアリマシタ

○作問耕逸君 ソレデヤ厚生大臣ハ宜シウゴザイマス、戰災復興院總裁ト大藏大臣……

○委員長(子爵高木正得君) 村田君ハ

○男爵村田保定君 今ノ作問委員ノ御要求デ私ノ發言ハ必要ガナクナリマシタ

○委員長(子爵高木正得君) ソレデハ是ヨリ本論ニ入りマシテ罹災都市借地借家臨時處理法案ノ總括的御質問ヲ御願ヒシタイト存ジマス

○子爵森俊成君 是ハ申ツテ居ル質問デアアルカドウカ分リマセヌガ、若シモ御意見ヲ承ルコトガ出來レバ結構ダト思フノデアリマス、土地デアリマスルガ、大體ニ於キマシテ殊ニ都會ノ住宅土地、斯ウ云フ風ナ住宅土地ノヤウニ境界のモノハ、是ハ社會政策方面カラ見テモ疑問ハアリマセウガ、或個人ガ所有スルト云フ風ナコトヲ無制限ニ許サレルモノデアアルカドウカ、或ハ將來一定ノ個人ガ持ツ限度ト云フモノヲ或範圍ニ限定スルト云フヤウナ御意向ガアルカドウカ、ト云フノハ他ノモノト違ヒマシテ、都會ノ住宅土地ト云フモノハ何ト申シマシテモ限リノアルモノデアリマス、誰デモ持ツト云フコトハ出來ルモノデアリマス、或少数ノ者ガ占有スルト云ツテハ甚ダ大變態デアリマススケレドモ、底大ニ所有スルト云フコトハドウカト思ハレハ、斯ウ云フ風ナ點カラ境界ヲスベキ問題ダト思フノデアリマス

○政府委員(奥野健一君) 只今ノ御尋デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ或場所デ私ガ此ノ法案ノ説明ヲ致シマシタ時ニモ、實ハサウ云フヤウナ疑問ガ提出サレマシテ、即チ農地等ニ付テハ國家ガ或ハ買收シテ再分配ヲスルト云フヤウニ政策的ニ考ヘテ行カレルヤウデアアルガ、此ノ都市ノ少クトモマア罹災ノ跡地ト云フヤウナモノニ付テ政府ガ之ヲ買上ゲテ再分配ヲスルトカ、或ハ個人ノ所有ト云フヤウナモノニ付テサウ云フ國家ノ立場カラ制限スル、統制ヲシテ行クト云フヤウナ考ハナイカト云フ風ナ御質問モアリマシタノデ、ソレトモ關係スルヤウニ思フノデアリマスガ、マア此ノ點ハ實ハ司法省ノ所管ト致シマシテハ、何トモ御答ヘ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマシテ、唯此ノ臨時處理法ハ罹災都市ノ借地借家ノ統制ノ借地關係、或ハ使用關係ニ付テ、臨時の應急ノ措置ト致シマシテ、若シ此ノ法案ヲ出シマセヌナラバ、此ノ前ノ罹災土地物件令ガ消滅致シマス關係上後ノ權利關係ガ混亂致シマス、サウ云フ關係カラ一應臨時ノ罹災跡地ノ權利關係ヲ調整致スト云フ日途ヲ以テ此ノ法案ヲ出シタ次第デアリマシテ、根本的ナ都市ニ付テハ、ドウ云フ計畫ヲ致シマスカタ云フ點ニ付キマシテハ、所管モ違ヒマスコトデアリマスシ、此ノ法案ト致シマシテハ、サウ云フ點ニハ何等觸レテ居ラナイノデアリマス、唯先程モ問題ニナリマシタヤウニ、是ハ戰災復興院等トモ十分ナ連絡ヲ持チナガラ、都市計畫或ハ其

ノ他ノ建築規定ノ關係等モ考慮ニ入レマシテ立案致シタノデアリマシテ、其事柄ハ例ヘバ第二條ノ第一項ノ但書ニ「他の法令により、その土地に建物を築造するに於て許可を必要とする場合」に、その許可がないときは、その申出をすることができない」と云フヤウナ場合ニ於ケル、「他の法令」と云フ風ナ中ニ、都市計画法デアルトカ市街地建築物デアルトカ、又今回提出ニナツテ居リマス特別都市計画法等場合モ決定ノ中ニ入レテ規定シテ居ル次第デアリマス、又疎開跡地ニ關スル事柄ニ付テ、第九條ノ但書ニ於キマシテ、「公共團體が疎開建物の敷地又はその換地を所有し、又は賃借してゐる場合は、この限りでない」と云フコトニ致シマシテ、公共團體ガ或ハ其ノ疎開跡地ヲ綠地帶トカ或ハ廣場ニ使フトカ、道路ヲ造ルト云フ風ナコトデ、尙此ノ疎開跡地ヲ解除シナイデ公共團體ガ持つテ居ル場合ハ其ノ借地權ヲ設定シテ居ルト云フ場合ハ、此ノ借地權設定カラ除外シテ居ルト云フ風ナ事柄モ、矢張りソレ等モ決定ニ入レテ、關聯シテノ規定デゴザイマシテ、大體戰災復興院トモ協議シテ立案セラレタモノデアリマスカラ、先程ノ問題ノ點モソレ等ト矛盾ナク立案サレテ居ルト御了解願ヒタイト思ヒマス

セラレタモノデアルコトハ、政府ノ御説明ヲ拜承シ、又之ヲ拜承スル迄モナク、此ノ法案自體ニ依ツテ竊ハレルノデアリマスガ、是ガ立法ノ第一ノ目的デアルコトトス様ニ信ジテ居リマス、今や國民生活問題ノ中、食糧ノ方面ハ聯合國司令部ノ好意アル協力、此ノ幸ナル天候ノ順調、其ノ他ノ事情ニ依リマシテ稍々解決ノ曙光ヲ認メ、國民ハ希望アル前途ヲ明ルイ氣持デ迎ヘルコトガ出來ルヤウニナリマシタ、全ク官民協力ノ御陰デアリマス、次イデ來ルベキモノハ、國民生活ノ問題ト致シマシテハ此ノ住宅難ノ打開デアリマス、モウ既に此ノ社會的ニ與論トシテ高マリツ、アル、此ノ食糧問題ガ落付クニ從ツテ今度ハ住宅問題ガ高潮化スル、或ハ白熱化スル處ガ多分ニ見透サレルノデアリマス、然ルニ政府ガ此ノ時局ニ於テ此ノ法案ヲ提出サレテ、住宅難解決ノ一方策トサレルト云フコトハ誠ニ時宜ヲ得タモノデアリシテ我ハ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、唯此ノ法案ヲ出サレマスル以上、第二次の、副次的の、序ニ此ノ復興促進ノ方面ニモ相當御留意ヲナサレテ然ルベキデアルマイカ、尤モ此ノ法案ノ處々隨處ニハ其ノ趣旨ガ現ハレテ居ル所モアリマスレドモ、何トシテモ司法省ノ案トシテハ罹災者ノ權利ノ保護、正當ナル罹災者ヲ救護スル、ソレ以外ニ餘リ出ラレルト、戰災復興院ノ所管ニモ進ムコトニナルノデアリマスガ、併シナガラ直ニ此ノ大都市其ノ他戰災都市ノ復興ヲ計畫スルニ付テハ、單ニ罹災者ヲ救護スルバカリデハ尙憚ラヌノデアリマスト云フ設モアリ、見方モアルノデアリマス、國民感情上カラ言ヘバ、甚ダ私ハ非人道的

デアツテ、國家モサウ云フ說ニ與スベキモノデアナイ、戰災ニ遭遇シタナラバ先ツ何ヲ指イテモ國家トシテモ、國民トシテモ之ニ同情シテ、之ヲ優先的ニ扱ツテ、サウシテ其ノ救済ヲ圖ラナケレバナラヌト云フハ當然デアリマスガ、併シナガラ復興ノ大局カラ見ルト云フト、戰災者ヲ保護スルコト云フトハ復舊ニハナルカモ知レマセヌガ戰災者ト云フハ氣ノ毒ニモ多クハ實力ヲ戰災ノ爲ニ喪失シテ居ル、デアルカラ僅カニ舊來ノ生活ヲ維持スル、ソレガ一生懸命ダト云フヤウナ者ガ數ノ上ニ於テ少クナイノデアリマス、國家ノ大都市復興ノ目的カラ云ヘバ、實ハ戰災ニ遭ハズ實力ニ餘裕ナル、而シテ此ノ機會ニ於テ都市ノ復興ニ協力シテ將來大イニ發達ヲ圖ラムト云フ熱意ヲ持テ、又其ノ實力ヲ持テ、又其ノ用意ヲ持ツ國民ガ乘込シテ來テ、復興ノ協力或ハ支援ヲスル、自ラ復興ノ當事者ニナル、復舊デハナイケレドモ復興ノ方ニ力ヲ持ツ、持タシタ方ガ復興ノ爲ニハナルノダ、國家カラ觀レバドレモ市民デアル、必ズシモ、戰災前ノ市民デアル都民デナラネバ其ノ後ノ復興ニ協力セシメラレナイト云フヤウナモノデハ勿論ナイノデアルカラ、サウ云フ趣旨復興協力者、復興熱意者モ或程度歡迎シテヤツテ、サウシテ其ノ便宜ヲ圖ツテヤラナケレバナラナイ、斯ウ云フ副方モアルヤウデアリマス、デ、此ノ法案ハ何トシテモ司法案デアリマスル以上ハ、ドウモ復興ニ重キヲ置カルルコトハ案ノ性質上出來ナイノデアリマスガ、司法大臣トシテ此ノ案ニ於テモ許サル、限リハ復興ノ方ニモ副次的の、第二次の、其ノ趣旨ヲ御認メニナルヤウニシ、尙復興上ノ權利保護ノ

問題ニ對シテハ他日復興院總裁トモ能ク御協力下サツテ其ノ方ノ復興從事者ノ側カラ觀テモ矢張り十分ナル權利ヲ認メラレテ、以テ復興ノ促進ニ便宜ヲ圖ラレマスルコト云フヤウナ御所見デアリマセウカ、一ツ司法大臣トシテノ御考ヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 御答ヘ致シマス、只今作問委員ノ御説ハ至極御尤カト存ジマス、併シ此ノ法案ガ今政府委員カラ申上ゲタヤウニ、先ツ第一次の罹災民ノ救済、其ノ權利ノ確保ト云フコトガ此ノ法案ノ目的ニナツテ居リマスノデ、左様ニ作問委員ノ仰セラレルヤウナ復興ニ付テ熱意ナル人達ハ、宜シク此ノ第二條第三條罹災民ガ設定取得サレマシタ借地權ヲ其ノ罹災者カラ或ハ譲リ受ケルナリ何ナリシテ、合意ノ上ニ於テ更ニ賃借權ヲ取得サレテ、サウシテ自分ノ實力ヲソコニ投ジテ家ヲ建テラレルト云フヤウナコトハ十分出來得ル餘地ガアルノデアリマシテ、所有者ト、今申上ゲル二條三條ノ借地權者ト合意ノ上デ如何様ニモ出來ルカト存ジマスルノデ、其ノ點ハ決シテ此ノ法案ニ於テ阻止スル譯デハアリマセヌカラ、熱意ナル人ハサウ云フ方法ヲ執ツテ復興ニ大イニ努力ヲ願ヘルカト存ジマス、全般的ノ復興促進ニ付キマシテハ政府ト致シマシテハ勿論大イニ考慮シナクテハナラヌ問題デアリマス、其ノ點ニ於テハ復興院トモ能ク協議致シタイト思ツテ居リマス

○作問辯論者 只今大臣ノ一應ノ御答辯デコチラモ一通リ了承致シマシタ、唯只今ノ點ニ關聯シテ今度ハ政府委員ニ御伺ヒシタイノハ、一體此ノ第二條ノ借地權ヲ設定シタ其ノ罹災者ノ借地權利、ソレカラ第三條ニ依ツテ借地權ノ譲渡ヲ求メタ其ノ罹災者ノ借地權利是等ノモノハ一定ノ期間内ニ建築ヲシナケレバ解消セラレルコトニハナツテ居リマスルガ、其ノ建築ニ着手スル迄ノ間ニ他人ハ譲渡スルコト出來ルノデアリマセウカ、無論此ノ法案デサウ云フコトハ禁制シナイノデアリマスカラ、禁制シテナイ以上ハ、民法權利移轉ノ原則ニ從ツテ、譲渡ハ地主主ノ承諾サヘアレバ自由デアルト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、サウスルト實際ニ戰災者ガ戰災ノ特殊事情ヲ主張シテ權利ヲ得タ、ソレヲボント人ニ譲ツテ、權利金ノ差額ヲ儲ケテ、自分ハソレデ退イテシマツテ、其ノ權利ヲ高イ金ヲ出シテ譲受ケテ、本當ノ建築ヲスル者ハ戰災者ニアラズシテ、所謂復興建築ニ熱意ヲ有スル第三者デアル、斯ウ云フコトハ今大臣ノ御答辯ニ依ツテハサウ云フ場合ガアリ得ルコトヲ窺ハレテ、寧ロサウ云フ場合ノアル方ガ復興ノ助成、復興ノ獎勵ニナルノデアリナイカト云フヤウナ御趣旨デアリマシタガ、是モ一面誠ニ御尤モ、處ガ戰災者ガ戰災ニ遭ツテ氣ノ毒デアル、助ケテヤリタイ、デアルカラサウ云フ特典的扱ヒヲ特ニ認メテヤルノデアアル、戰災者モ其ノ趣旨ニ依ツテ權利ヲ得タ、間モナクソレヲポイント賣渡シテシマツテサウシテ幾ラカノ金儲ケヲシテ、サウシテ引込シマツ、其ノ權利ヲ實際ニ行使スル者ハ戰災ニ關係ナキ第三者デアル、其ノ關係ハ政府トシテハドウ御考ニナルカ、却テサウ云フコトガ宜イノデアルト云フコトニナルノデアリマスガ、サウ云フコトハソレハドウ

モ、サウ云フ處置ヲスル被災者ハ怪シ
カラス、權利賣買デ金ヲ儲ケテ引退ル
ヤウナ被災者ニハ、特別ノ扱ヒヲシテ
ヤリタイ積リデハナイノダト云フコト
ニ御考ニナルノデアリマセウカ、ソコ
ヲ一ツ御伺ヒシタイ

○政府委員(奥野健一君) 御答へ申上
グマス、此ノ法案ノ狙ヒト致シマシテ
ハ、罹災者ト申シマスカ、罹災建物ノ
居住者或ハ罹災建物ノ借主ニ二條三條
ニ依ツテ借地權ノ設定ヲ得セシメ、或
ハ借地權ノ讓受ヲ得セシメルノデアリ
マシテ、此ノ法案ノ本來ノ建前ト致シ
マシテハ、罹災者ニ借地權ノ設定或ハ
讓受ヲ得セシメ、其ノ居住ヲ保護シ
テ行カト云フ趣旨ニナツテ居ルノデ
ザイマス、併シナガラ仰セノヤウ
ニ、其ノ間得テ借地權ヲ讓渡スルコト
ヲ必ズシモ禁止ハシテ居リマセヌ、デ
スカラ一般規定ニ依ツテ之ヲ讓渡スル
コトハ必ズシモ妨ゲル所デハゴザイマ
セヌノデアリマシテ、又第七條ニ依リ
マス、其ノ後六ヶ月間ニ正當な事由
ナクシテ建物ノ建築ヲ始めナイ時ハ借
地權ノ設定、或ハ讓渡ヲ解除セラレ
ルコトニ、ナルカモ知レナイコトニナ
ツテ居リマス、此ノ六箇月間ニ建築
ニ著手スルコト云フコトハ必ズシモ初
メ第三條ニ依ツテ設定ヲ受ケタ借主、
或ハ居住者ト云フ其ノ人ガ、六箇月間
ニ建築ヲケレバナラナイト云フ程嚴格
ニ解釋シナクテモ宜ノデアリマシ
テ、或ハ其ノ者カラ又借ヲスルトカ、
或ハ借地權ノ更ニ讓渡ヲ受ケルト云フ
場合モ、此ノ六箇月以内ニ建築ニ著手
スルト云フ要件ニ當テルノデアリマシ
テ、必ズシモ初メ借主自身ガ建築ニ著
手スルコトデナクテバナラナイ、ト云
フ意味デハナイト云フ風ニ我々ハ此ノ

七條ヲ解釋シテ居ルノデゴザイマス、
サウ云フ意味デ、法案ノ狙ヒト致シマ
シテハ、罹災者ニ借地權ノ設定或ハ讓
渡ヲ得セシメ、其ノ居住ヲ保護スル
ト云フ建前デハゴザイマス、必ズ
シモ法律ノ解釋上、其ノ讓渡轉貸ト云
フ風ナコトヲ禁止スル趣旨デハナイト
云フコトヲ考ヘテ居リマス
○作問辭逸君 一般ノ私ノ質問ハ是
デ打切りマシテ、後ハ逐條ニデモ入リ
マシタ時、御許シテ願ヒマス
○竹下豐次君 作問委員ノ御質問ニ關
聯シテ、御尋ネシタイノデスガ
○委員長(子爵高木正得君) ドウ
ゾ……

○竹下豐次君 私御尤モノ御質問ダト
思ヒマス、第三條ニモ關係ガアルコト
ダト思ヒマス、此ノ春通過致シマシタ
農地調整法デスネ、アレニハ農民ガ讓
受ケタ土地ヲ、二箇年ノ間ハ賣却スル
コトガ出來ナイト云フヤウナ制限規定
ガアツタカノヤウニ記憶シテ、居リマ
ス、此ノ場合モソレト大變似寄ツタ場
合デアリマス、サウシテ作問委員ノ心
配サレバヤウナ事實モ私ハ相當澤山起
ツテ居ルト思フ、何カ是ハ豫防方法ヲ
豫メ法律デ規定シテ置ク必要ガ非常ニ
アルト私ハ感じテ居ル、實ハ私モ其ノ
點ヲ御尋ネシタイト思ツテ居リマシタ
ガ、作問サンカラ御話ガアリマシテ、
全ク同感デ、何カサウ云フ制限規定ヲ
置イテハ困ルト云フヤウナ事情ガ政府
當局ニ御アリデアリマス、若シアリ
マシタラバ、農地調整法トハ、全ク
同ジデアリマセヌカラ強イテ……

○國務大臣(木村篤太郎君) 御答へ致
シマス、農地ト此ノ罹災都市トハ、餘
程趣キガ違フノデアリマシテ、今第七
條ニ政府委員カラ申上ゲマシタヤウ
ニ、第二條第一項及ビ第三條ニ依ツテ
地上權ノ讓受ヲ得マシタ者ハ、六箇月
間ニ建物ノ建築ヲ始めナケレバナラヌ
ト云フ制限ガアル、ソレデナケレバ賃
借權ハ消滅シテシマフノデアリマス、
此處ニ嚴格ナル制限規定ガ設ケテアリ
マス、農地ノ場合ト、法文ノ建前
カラ云ツテモ非常ニ違ツテ來テ居リマ
スカラ、御説ノヤウナ御心配ハナカラ
ウト思ヒマス
○竹下豐次君 ソレモ一應理由ニナル
コトト思ヒマスガ、六箇月ノ期間ガ短
イカ長イカト云フコトガ一ツノ問題ニ
ナルト思ヒマス、ソレカラ著手シタト
云フ時ハ、イツ著手シタコトニナル
カ、土地ノ測量、ト云フ作業タシノ
デ、ソレホドデナイカモ知レマセヌケ
レドモ、繩デモ引イタ時ニハ、建築ニ
著手シタト云フコトニナルノカ、ドノ
程度ノコトヲシテ、著手ト認定サレ
ルノカ、細カイコトデモ問題ニナルト思
ヒマス、殊ニ今ノヤウナ資料ノ出廻リ
ノ悪い時ニハ、本人ガ急イデアラウト
シテモナカノ速ク完成シナイト云フ
ノガ今日ノ狀態ダト云フ風ナ事情デ、
著手シテモイツ出來ルカ分ラナイ、ソ
コニ惡意ヲ持ツテ居ル者ガアリマシタ
ラバ、サウ云フコトヲ口實ニシテ、
故ラニ著手シタ形ニシテ置イテイツ迄
モ殘シテシマフ、言ヒ換ヘレバ權利ヲ
賣買スル期間ヲ長ク延バシテシマフ、
六箇月間ニ著手ト云フコトハ必ズシモ
政府ノ希望スル、著手ニナラナイデヤ
ナイカト云フ風ニ考ヘマスガ、其ノ點
ハ何レ又後デ、色々議論ガ出ルコトダ
ト思ツテ居リマス、此ノ席デハツキリ
今御答辯ヲ承ラナクテモ宜イト思ヒマ
ス

○國務大臣(木村篤太郎君) 御答へ致
シマス、今主張サレマシタ繩ヲ張ルト
云フヤウナコトハ、準備行為ニ過ギナ
イノデアリマス、之ヲシモ建築ニ取掛
クタルコトハ言ヘマイカト思ヒマ
ス、仕事ヲ始めタト云フ解釋デアリマ
スガ、是ハ勿論常識的ニ解釋スベキモ
ノデアリマシテ、若シ争ヒガ起レバ、公正
ナル裁判所ニ於テ之ヲ判斷スル途ガア
リマス、自ラ其ノ途ハ解決サレルト存
ジマス
○竹下豐次君 御趣旨ノアル所ハ一應
承リマシタカラ、ソレハ承ツテ置ク程
度ニ止メマシテ、色々意見ヲ申上ゲマ
スノハ、又後ノ機會ニ申上ゲタイト思
ヒマス
○原泰一君 チョット御伺ヒテ致シタ
イノデゴザイマスガ、此ノ法律デ耕作
ノ目的デ、現ニ使用シテ居ルヤウナ場
合ハ、ソレヲ保護スル爲ニ、六箇月ハ
使用スルコトガ、許サレテ居ルト云フ
コトニナツテ居リマスガ、實際ノ場合
ニナリマス、ソレガ本當ノ權原デナ
ク使用シテ居ル場合ガ、往々アルノ
ガ、多イヤウデゴザイマス、ト云フノ
ハ、所有者モ遠方ニ行ツテ居ナイ、家
ヲ借りテ居ッタ人モドコカヘ行ツテ居
ナイ、併シソレヲ其ノ儘、空ケテ置ク
ノハ勿體ナイト云フノデ、事實ノ上ニ
於テハ、耕作シテ居ルノデゴザイマス
ネ、處ガ又ソコヘ借地者ナリ所有者ナ
リガ出テ來テ、返シテ呉レト云フヤウ
ナコトデ、問題ガ起ルコトハチヨイチ
ヨイアリマス、又サウ云フヤウナ
場合ヲ恐レマシテ、實際モソト菜園ナ
ドニシタラ宜イデヤナイカト云フヤウ
ナ所ガ、都内ニ於テモ、耕作ノ目的ニ
使ツタラ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナ土地ガ殘サレテ居リマスガ、サウ云
フ所マデ保護ノ氣持ヲ徹底サシテ下サ

ル、ト云フコトデアレバ、都内ノ菜園
化ナドト云フコトガ、モット多ク行ハ
レテ、食糧危機突破ニ、多少ノ貢獻ヲ
スルノデヤナイカ、ト云フ風ニ考ヘラ
レマスガ、是デハチヨットサウ云フ所
マデ載ツテ居リマセヌガ、何カ又他ノ
方法ニ依ツテ、ソレヲ保護スルコト云フ
ヤウナコトハ出來マセヌデゴザイマス
カ

○政府委員(奥野健一君) 只今御尋ネ
ノ點デアリマスガ、本案ニ於キマシテ
ハ第六條デ「權原により現ニ耕作ノ目
的」耕作シテ居ル者ハ、六箇月間
ハ、其ノ者ハ耕作ヲ續ケルコトガ出來
ル、ト云フ風ニ致シテ居リマス、而シ
テ此ノ權原ニ依ツテト云フノハ正當ナ
權原即チ適法ニト云フ意味デアリマシ
テ、只今御話ノヤウニ不法占據ニ依ツ
テ耕作ヲ始めタト云フヤウナモノハ、
此ノ中ニ含マナイコトニナリマシテ、
耕作權ハ保護サレナイコトニナリマ
ス、唯初メニ不法デアツテモ、其ノ後
暗黙ノ間ニ地主等ガ之ヲ使用ヲ許シテ
行クト云フコトニナルト其ノ暗黙ノ間
ニ於テ使用賃借ト云フ風ナモノガ出來
マスレバ、所謂茲ニ權原ニ依ツテト云
フ適法化サレテ行クモノト云フコトニ
ナリマシテ、本條ノ適用ヲ受ケルコト
ニ相成ル譯デアリマス、六箇月間ダケ
ヲ保護スルコトニ致シマシタ理由ハ大
體六箇月アレバ應收穫ガ出來ルト云
フ風ニ考ヘマシタノデアリマス、既ニ
罹災者ガ借地權ノ設定ヲ受ケ、或ハ借
地權ノ讓渡ヲ受ケテ居ルノデアリマス
カラ、ソレ等ノ者ガ建築ニ著手致シタ
イト思ツテ居ル狀態ノ所ヘ、何時迄モ
外ノ者ガ耕作ヲ續ケテ居ルト云フコト
ハ甚ダ面白クナイノデ、尤モ收穫スル
期間トシテハ六箇月間ヲ保證シテヤレ

バスレデ適當デアラウカト思ヒマシ
テ、六箇月間ダケハ尙耕作ヲ續ケテ行
クコトガ出來ルト致シタノデアリマ
ス、但シ其ノ期間ガ不適當デアレバ、
其ノ具體的事情ニ照シマシテ、裁判所
ニ對シテ其ノ短縮ナリ、或ハ伸長ヲ申
立テテ、其ノ期間ヲ短縮、或ハ伸長ス
ルコトガ出來ル途ヲ俾シ書ニ於テ拓イ
テ居ルノデアリマス

○原委員一君 其ノ希望シマスル心
持ハ、其ノ適法化スル意味此ノ儘ダ
ザイマス、當事者ノ了解ヲ得ルト云
フヤウナコトデナイト適法化サレナイ
ノデゴザイマスカラ、例ヘバ裁判所ノ
方ヘ豫メ申出テ置イテ、ドウモ行方ガ
分ラナイカラ、所有者ナリ借地權者ナ
リ兩方共何處ニ居ルカ分ラナイカラ
使ハシテ戴キタイト云フ届出モシタナ
ラバ、ソノ場合ニハ適法化サレルト
カ云フ途ハ考ヘラレナイモノデゴザイ
マセウカ

○政府委員(奥野健一君) 御尤モナ御
話デゴザイマスガ、矢張り所有者、或
ハ借地權者ノ方ノ利益モ考慮サナケ
レバナリマセヌノデ、本案デハ矢張り
適法化ナケレバイカヌト云フコトニ致
シマシテ、特ニ裁判所等ニ届ケテ置ケ
バ宜シイト云フ所迄ハ言ツテゴザイマ
セヌ、ガ併シ所有者ノ管理人等ガ居ル
ヤウデアリマスレバ、管理人トノ話合
ナリ、管理人トノ暗黙ノ許可ト云フヤ
ウナコトニ依ツテ、適法化シ得ル途ハ
十分アラウカト思ハレマスノデ、其處
迄ハ本案デハ自由ニ耕作ガ出來ルト云
フ所迄ハ認メテゴザイマセヌ

○男爵村田保定君 只今ノ御質問ニ關
聯シマシテ、今ノ權原ニ基ク耕作權ヲ
使用シテ居ル者ガドノ程度アルノカ、
サウ云フ御見送シガ付イテアリマセウ

カ、若シアレバ承リタイ
○政府委員(奥野健一君) 其ノ點ハ實
ハ司法省ト致シマシテハ十分分ツテ居
リマセヌ、是ハ東京都、或ハ東京ダケ
ノ問題デハアリマセヌデセウガ、恐ラ
ク區役所等ニ付テ調べレバ或ハ分ルカ
ト思ヒマスガ、司法省デハ今ドノ程度
ニナツテ居ルカト云フコトハチヨット
見送シハ付イテ居リマセヌ

○男爵村田保定君 サウシマス、先
程ノ原委員ノ御發言ノヤウニ、實際權
原ニ依ラナイモノノ方ガ多イノデヤナ
イカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマ
ス、サウシマス、此ノ點定ノ御趣旨
ハ實際ノ實益ハ比較的少イノデ、寧ロ
逸シテ居ルモノノ方ガ大キイ、矢張り
今原委員ノ御希望ノヤウナコトガ何カ
ソコニ實現サレテアレバ、ト云フヤウ
ナ氣ガ致シマスガ、其ノ點ノ此ノ規定
ヲ御設ケニナツタ司法省ノ御意釋ハ何
處ニアルノカ、承リタイト思ヒマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 是ハ御承
知ノ通り戰災跡地ニ借地權者ナリ所有
者ノ承諾ナシニドシノ作ツテ居ル、
是ハ現實ノ事實デアリマス、併シ一方
カラ考ヘテ見マスト、サウ云フ人達モ
何時迄モ使フト云フ氣持ハナイダラウ
ト思フ、アツテモ亦ソレヲ保護スベキ
モノデハナカラウカト思ヒマス、或程
度ノ收獲ヲナシテ、サウシテ戰災跡地
ノ復興ト云フコトヲ主眼ニシテ此ノ本
案ハ出來上ツタモノデアリマスルカ
ラ、是ハモウ勝手ニ使ツテ居ル人ハ已
ムヲ得ナイノデヤナイカト斯ウ考ヘテ
居リマス

○原委員一君 實際私共彼方此方現場ニ
接シテ居ル者カラ申シマス、今村田
委員カラ御話ガアリマシタヤウニ、作
ツテ居ル人モ實際ニ於テハ何等ノ了解

ヲ得ラレナイデ作ツテ居ル人モアリマ
セウシ、サウシテ先程申上ゲマシタ
ヤウニ、彼處ヲ使ツタ宜イデヤナイ
カト思ハレルヤウナ處デモ隨分空イテ
居ルノデアリマス、ソレヲ假ニ此ノ法
律デ保護サレテ居リマスルヤウニ、何
カノ工夫ニ依ツテ適法化サレル、永イ
コトトハ言ハナイノデアリマス、勿論六
箇月位デ結構デアリマスカラ、六箇月
位ナラヤツテモ宜イト云フヤウナコト
ガアリマスレバ、モット榮國化ト云フコ
トガ、今日ノ二倍モ三倍モ、實際調ベ
テ見ナイカラ分リマセヌガ、ナルノデ
ヤナイカト考ヘラレルノデアリマスカ
ラ、一面ニ於テ非常ニ食糧危機ノ叫バ
レラ居ル今日、サウ云フ遊休モノガ
アルト云フコトニ付テハ、少シデモソ
ノ氣持カラ申上ゲタ譯デアリマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 御尤モデ
アリマスルガ、ソレハ自ラ解決シテ行
ツテ居ルノデヤナイカト思ツテ居リマ
ス、其處ヘ建テル意思モナシニ打ツチ
ヤツテアル處ニ榮國ヲ作ラセテ居ッ
テ、ソレヲ直グ取上ゲルト云フコトハ
現實ノ問題トシテハ起ツテ居ナイト思
ヒマス、此ノ法案ハ今申上ゲマスヤウ
ニ、矢張りドウシテモ、建築ノ復興ガ
主眼デアリマスカラ、サウ云フヤウナ
急速ニ復興シナイヤウナ場所ニ付テ
ハ、自ラ自然的ニ解決シテ行ツテ居ル
ノデヤナイカ、斯ウ認メテ居ルノデゴ
ザイマス

○原委員一君 今ノ問題トハ案フコトデ
アリマスガ、ソレハ先程來段々御話ニ
出テ居リマス住宅拂底ノコトデアリマ
スガ、其ノ爲ニ都ノ方ナドモ色々心配
ナサレマシテ、政府デモ御心配ニナツ
テ居ルノデアリマスガ、例ノ大キイ住

宅ノ開放サセルト云フコトニ付テ調査
モサセラレ、又恐ラク今デヤ任意の申
出ト云フヤウナ形式デヤナイダラウカ
ト思ヒマスガ、其ノ任意のノ申出ニ依
ツテノ結果ハソレ程思ハシクナイト云
フヤウナコトモ言ハレテ居ルノデアリ
マスガ、何カア、云フヤウナコトヲ法
律化シテモ行カレルト云フヤウナ御
希望ガ御アリニナリマスガ、ソレト相
俟チマシテ、是モ私共住宅緩和ノ一ツ
ノ方法ト致シマシテ、彼方此方使ハレ
テ居ナイ遊休ノ建物ヲ調べサシタコ
トモゴザイマスガ、學校ナリ或ハ工
場等ノ宿舍ニ使ハレテ居ツタ建物デ、
今日尙大キナモノガ其ノ儘使ハレナイ
デアルモノガアルノデゴザイマス、ダ
カラサウ云フヤウナモノニ付キマシテ
ハ、段々色々ナ事情ヲ聽キマスト、ソ
レヲ成ルベク所有者ガ高ク賣リタイト
云フヤウナ譯デ、交渉ノ場合ニ結局話
ガ纏マラナイ、サウ云フヤウナ事實モ
聞イテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ
モノナド、今日ノヤウナ場合ニ何カ法
律ナリ規則ナリニ依リマシテ、住宅ニ
轉用シテ行クト云フヤウナコトヲヤ
セテ行クト云フヤウナコトガ出來マス
レバ、今日ノ拂底シテ居ルモノヲモツ
ト緩和シテ行クトガ出來ルデヤナイ
カト云フコトヲ切實ニ感じテ居ルノデ
アリマスガ、サウ云フコトニ付テ何カ
御考ガアリマシタラ伺ヒタイト思ヒマ
ス

○國務大臣(木村篤太郎君) 原委員ノ
今申サレマシタコトハ、誠ニ私モ同感
デアリマス、政府ト致シマシテハ、サ
ウ云フ買上ゲトカ借上ゲトカ云フコト
ニ付テ特殊ノ法律ヲ今設ケルヤウナ意
思ハナイノデアリマスルガ、御承知ノ
通り普通ノ大キナ住宅デ現在使ツテ居

ルヤウナ場所ヲ今當局トシテハ調べテ
居ルノデアリマスガ、是ハ何分ニモ家
族ノ同居ト云フコトハ色々ナ點カラ見
テ、風紀上ノ點、ソレカラ斯ウ云フ食
糧事情ノ逼迫シタ時ニ兎角神經ガ過敏
ニナツテ居リマスカラ、是ハ餘リ望マ
シクナイト思ツテ居リマス、ソコデ御
話ノ空イテ居ル大キナ家屋、之ニ付テ
ハ十分ノ手配ヲ盡シマシテ、サウシテ
「アパート」式ニ改良シテ、住宅ニ因
ツテ居ル人達ヲ其處ニ收容スル、サウ
云フコトニ付テハ政府ノ方トシテハ非
常ニ努力シテ居ル次第デアリマス、殊
ニ燒跡ノ「ビルディング」ナドハ急速
ニ改造シテ「アパート」式ニヤラウト
云フコトヲ計畫ヲ立テテ居ルヤウデア
リマス

○原委員一君 只今ノ御話ヲ伺ヒマシ
テ、私モ普通ノ使用シテ居ル家屋ヲ無
理ニ法律ニ依ツテドウスルト云フコト
ハ、是ハドウモ御考ノヤウニ無理ガア
ツテ宜クナイノデヤナイカ、任意のニ知
合デモ入レテ行クト云フコトデアレバ
非常ニ結構デアルガ、無理矢理ト云フ
コトハ今御説明ニアリマシタヤウナ點
ニ於テ面倒ガ起ツテ來ル處ガアルノデ
ヤナイカト思ツテ、至極同感ナノデア
リマスガ、唯政府ノ今御努力ニナツテ
居リマスル燒跡リノ建物モ相當アリマ
スカラ、政府ノ方デ御努力ニナツテ居
ルト云フコトハ分リマスガ、ナカノ
其ノ努力ガ實現ヲシナイノデアリマ
ス、ダカラソレヲ一ツ早く實現スルヤ
ウナ工夫ヲ、先程モ御意見ガ出テ居リ
マシタガ、サウ云フヤウナ有實力者ガ
ソレニ參照シテ大イニヤツテ呉レルナ
ラ、サウ云フヤウナ實力ヲ動員スルト
云フコトモ結構デアリマスカラ、何カ
一ツ積極的ニ其ノ買上ゲルト云フコ

トニ御工夫ヲ願ヒタイモノダトスウ云
フコト切實ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス

○國務大臣(木村篤太郎君) 是ハ今眞
劍ニヤツテ居リマス、實ハ私モ在野法
曹時代カラ、住宅ノナイ罹災者ヲ收容
スルニ付テハ一番「ビルディング」ガ宜
インデヤナイカト第一際ラ上ゲタノデ
ス、是ハ御承知ノ通り外郭ハ何デモア
リマセヌカラ、内ノ造作サヘ復舊スレ
バ如何様ニモ「アパート」ニ使ヘル、是
ハ宜インデヤナイカト云フコトヲ考ヘ
マシテ、之ヲ政府ニ進言シタコトモア
リマス、現政府ト致シマシテハ、相當
實現ノ程度ニ進ンデ居ル積リデアリマ
スガ、尙一層各所管ノ方ト連絡ヲ取リ
マシテ、御希望ニ副フヤウニ致シタイ
ト思ヒマス

○原泰一君 ドウゾ一ツ御願ヒ致シマ
ス

○男爵村田保定君 是ハ司法大臣ニ御
伺ヒシテ宜イノカドウカト思ツテ居リ
マシタノデスガ、只今ノ原委員ノ御質
問ノ趣旨ト一脈通ズル所ガアルノデ、
此際司法大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キ
タイト思フノデス、斯ウ云フノカアリ
マス、銀座ノ或喫茶店ノヤウデスガ、
一家月ノ家賃ガ四萬圓、サウシテ其ノ
喫茶店ノ一箇月ノ收入十五萬圓、サウ
スルト其ノ建物所有者ハ、其ノ四萬圓
ヲ不勞所得シテ居ルト申シマスカ、重
モ角ジツトシテ居ツテ四萬圓入ツテ來
ル、斯ウ云ツタヤウナ、寧ろ資本主義
時代ニ於ケル不勞所得ト云フヤウナモ
ノガ、今日ノ社會化サレテ來タ時勢
ニ、又コナ新ラシイ形式デ發生シテ
居ル事實ガアル、斯ウ云フ事實ガ又色
色ナ形ニ於テ今ノ社會ニ各方面ニアル
ノデヤナイカト思ヒマス、斯ウ云フモ

ノニ對シテ、一方デハ今ノ住宅難デ、
非常ニ住宅拂底ノ狀況デアツテ、是ニ
ハ資材ノ關係モアリマスルガ、又一方
デハ資金ナドノ關係デ、貸家ヲ建テル
ト云フコトハ困難ニナツテ居ル事情ガ
アルノデ、一種ノ社會立法ノ見地カラ
サウ云ツタヤウナ、不當力不當デナイ
カソレハ考ヘ様ニモ依リマスガ、今ノ
ヤウナモノヨリモツト大キイ賃料ヲ上
ゲテ居ル場合モアルドラウト思ヒマ
ス、サウ云フモノニ對シテ一種義務的
ニ、一方ニ於テ其ノ收入ノ何分カラ割
イテ貸家ヲ建テロト云フヤウナコトヲ
立法ニ織込ムヤウナコトハ、此ノ際、
殊ニ社會化セラレル今後ノ所謂民主主
義ノ時代ニ於テ必要デヤナイカト云フ
ヤウナ氣ガスルノデス、殊ニ住宅問題
ガ、先程作問委員カラモ御話ガ出マシタ
ヤウニ、將來ノ大キナ問題ニナツテ來
ルト云フヤウナ時期ニ、何カサウ云フ
ヤウナ新ラシイ、サウシテ大キナ見地
カラノ手ヲ打タレタイト思フノデス、
サウ云フ點ニ付テ、今ノ内閣ハドウ云
フ風ニ御考ニナツテ居リマスルカ、又
司法大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツタイラ
ツシヤルカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 御答ヘ致
シマス、今ノ御説ニ依リマスルト、非
常ニ不當利得ヲシテ居ル者ガアル、サ
ウ云フ者ニ對シテハ、政府ハ強制的ニ
貸家デモ建テサセテ、サウシテ住宅ニ
困ツテ居ル者ニ之ヲ提供サセタラドウ
カ、サウ云フ方面ニ付テノ社會立法デ
モヤレバ宜インデヤナイカト云フ御説
論デアリマスルガ、是ハ相當困難ナコ
トドラウト思ヒマス、御承知ノ通り今
ノ世ノ中ハ是ハ公正ニ考ヘテ實ニ色々ナ
點ニ不合理ナ狀態ガアルノデアリマ
ス、之ヲ一舉ニ修正改革スルト云フヤ

ウナコトハナカ／＼容易ナ事業デヤナ
イト思ヒマス、全面的ニ社會主義政策
デモ行ハバ或ハ出來ルコトカト考ヘラ
レマスルガ、サウ云フコトハナカ／＼
各方面ニ摩擦ガアツテ、現實ノ問題ト
シテハ容易ニ行ハルベキモノデヤナイ
ト私ハ信ジマス、併シ社會ノ不合理ト
云フヤウナコトハ是ハ出來ルデ是正
シテ行カケレバナラヌト云フコトハ
是ハモウ各人異論ノナイ所デアリマス
ルガ、政府トシマシテモサウ云フ不合
理ノ點ハ色々ナ角度カラ考ヘテ特殊ノ
社會立法ナリ、色々ナ法令ナリヲ設ケ
テ是ハ改革シテ行クト云フ意思ハ十分
ニアルト云フコトハ茲ニ申上ゲテ置ク
次第デアリマス

○政府委員(奥野健一君) 先程ノ原サ
ンノ御質問ニ關聯致シマシテ、昨年ノ
末ニ住宅緊急措置令ト云フモノガ出來
マシテ……是ハ司法省ノ所管デアリ
マセヌガ、復興院ノ所管デゴザイマス
ガ、之ニ依ツテ罹災者ヲ相當收容致シ
テ居ルノデアリマシテ、主ニ寄宿舎ト
カ「アパート」等ニ罹災者ヲ收容シテ居
リマシテ、其ノ軒數ハ四月末迄ニ七十
軒アルヤウデアリマシテ、收容客帯ハ
二千六百八十五世帯、收容人員ハ一萬
三千三百三人ト云フ風ニナツテ居ツテ、
之ニ依ツテ寄宿舎トカ、「アパート」ト
云フ風ナ建物ニ罹災者ノ收容ヲ實施シ
テ居ルト云フコトデゴザイマス

○霧山精一君 此ノ法律ノ實施ニ依リ
マシテ色々裁判所ノ仕事ガ煩エルノデ
ハナイカト思フノデスガ、何カ矢張り
此ノ法律ノ施行ニ付テハ豫算ヲ伴ツテ
居ルノデセウカ、若シ伴ツテ居ルトス
レバドウ云フ程度ノ豫算ニナツテ居リ
マセウカ、其ノ點ヲ一ツ……

○政府委員(奥野健一君) 裁判所ノ仕
事ガ煩エテ參リマスノデ、豫算ヲ取ツ
テ居リマスガ、ソレハ大體判事ガ二十
九名カト思ヒマス、ソレカラ本省ニ事
務官一人、ソレカラ書記、屬官等ハ之
ニ應ジテ取ツテゴザイマス

○霧山精一君 ソレカラモウ一點御伺
ヒ致シタイノデアリマスガ、此ノ法律
ニ依リマシテ借地權ガ設置サレタリ讓
渡サレタリスルノデアリマスガ、今地
代家賃統制令ト云フモノガアルノデア
リマスガ、是ハ矢張り此ノ法律ニ對シ
テモ家賃統制令ト云フモノガ適用ニナ
ツテ來ルモノデアリマスカ

○政府委員(奥野健一君) 現在地代家
賃統制令ハ尙九月三十日迄效力ヲ持
シテ居リマス、或ハ其ノ間ニドウ云フ
風ニ致シマスガ、所管省ニ於テ之ヲ考
ヘテ居ルヤウデアリマスガ、地代家賃
統制令ノアル以上ハ、其ノ制限ノ下ニ
於テ此ノ法律ガ働クコトニナルノデア
リマス

○霧山精一君 ソレカラモウ一點御伺
ヒタイ點ハ、借地法ト本法トノ關係デ
ゴザイマスガ、大體ニ於テ本法施行後モ
此ノ借地關係ナンデアルカラ矢張り借
地法、借家法ト云フモノガ其ノ上ニカ
ブサツテ適用ニナルモノトハ思ヒマス
ガ、ソレデモ宜シイノデスカ

○政府委員(奥野健一君) 御説ノ通り
デアリマス、例ヘバ二條、三條ニ依リ
マシテ借地權ノ設定ヲ受ケタ場合ノ借
地權ノ存續期間デ付テハ五條デ十
年ト云フコトニ致シテ居リマスガ、其
ノ他ノ點ハ是等ノ借地權モ矢張り借地
法ノ借地權トシテ取扱ハレル積リデ居
リマス

○霧山精一君 サウシマス二條ノ期
間ニ付テハ五條ガアツテ十年ト云フコ
トニナツテ居ルノデスカ、其ノ外ハ全
部借地法ガ適用ニナルト云フ御見解
ノヤウデアリマス、借地法ガ其ノ儘ズ
ツト適用ニナツテ今ノ十年ト云フ所ト
衝突矛盾ヲ起シヤウナ場合ハナイドラ
ウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、例
ヘバ借地法ノ五條デ契約更新ノ場合ノ
存續期間ト云フモノハ三十年、二十年
ト云フ風ニナツテ居リマスガ、斯ウ云
フノト此ノ十年ト云フノトドウモウマ
ク合ハナイデヤナイカト思ヒマスガ、
如何デスカ

○政府委員(奥野健一君) 五條デ十年
ノ期間ニ置イテアリマスガ、其ノ更新
ニ付テハ矢張り借地法ノ適用ガアルモ
ノト考ヘテ居リマス

○霧山精一君 初ハ十年デアルケレド
モ、更新ニナルト二十年ニナツタリ三
十年ニナツタリスルノデスカ、サウデ
アリマスカ

○政府委員(奥野健一君) 左様デアリ
マス

○原泰一君 地代家賃統制令ガ九月迄
ト云フコトデアリマスガ、併シ實際ノ
上ニ於キマシテハ九月ガ來ナイ今日ニ
於テ其ノ地代ノ値上ゲヲシタリ、家賃
ヲ値上ゲラシテ居ルト云フコトガアチ
コチデ現實ノ問題トシテ起ツテ居リマ
ス、是ハ矢張り地主ト借地人トノ間ノ
契約ノ上ニ現シテ居ツテ實行シテ居ル
約ノ上ニ現シテ居ツテ實行シテ居ル
云フヤウナ所モアルヤウデゴザイマ
ス、私共考ヘマスニ、大體サウ一般
ノ物價……此ノ間モ司法大臣ノ御説明
ニアリマシタヤウニ、三倍程度デア
ルカラ三倍ニ上ゲルト云フヤウナ所デア
ルヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、
ソレガ妥當デアルト云フコトデアレ
バ、私ハ九月迄效力ガアツテモ、モウ
其ノ梓ヲ外サレルノガ關ナクスル、

閣下執行サセルト云フヤウナコトナカ
ラシメ意味ニ於テハサウアリタイト
思フ、ガ今日實際ノ問題トシテサウ云
フヤウナコトガモウアチコチニ起ツテ
居ルヤウゴザイマスガ、其ノ點ニ付
キマシテ、司法當局トシテハ、ソレハ
モウ默ツテ、ソレハ漢フノダカラ默ツ
テ置イテ置カウト云フ御考ナンドゴザ
イマセウカ、其ノ邊ノ御見解ヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○政府委員(奥野健一君) 地代家賃統
制令ハ現在ノ處ハ九月末日ニ効力ヲ失
フコトニナツテ居リマスガ、是ハ必ズ
ヤ其ノ間ニ於テ其ノ地代家賃ノ最高價
格ヲ改訂シテ、矢張り何等カノサウ云
フモノガ出來ルト考ヘテ居リマス、デ
アリマスルカラ、司法省ト致シマシテ
ハ其ノ統制法令ガアル以上ハ、矢張り
其ノ枠内ニ總テ賃料ノ決メラルベキモ
ノト考ヘテ居リマス

○原案一君 現在サウ云フ事實ガ非常
ニアルノデゴザイマス、ダカラソレガ
若シモイケンナイ、若シモデヤナイ、イ
ケンナイコトナシデアリマスガ、ソレガ
イケンナイトハツキリ指示ヲサレル必要
ガアルノデハナイカ、サウシナイト一
軒一ト所ガヤレバ、ソレハモウヤツテ
モ宜イモノノデト云フコトガ實際ノ上
ニ申テハドンノ行ハレテ行クノデゴ
ザイマス、私ハ斯ウ云フ傾向ハ實ニ宜
クナイノデヤナイカト思フノデアリマ
ス、ダカラソレ迄ハイケンナイノデト云
フコトニ矢張り表面ダケハ……裏面ハ
ドウ云フコトガアルカ、其ノ邊ノコト
ハ分リマセヌケレドモ、少クモ決メラ
レテ居ル間ハ、其ノ契約ノ上ニソレヨ
リ高イ地代家賃ヲ決メタリスルコト
ハイケンナイノデトハツキリ一般ニ、地
方ヘ明示サレル必要ガアルノデハナイ

カト、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス
○國務大臣(木村篤太郎君) ソレハデ
スナ、梓ヲ外シテ宜イト云フヤウナコ
トハ、是ハ政府ハ考ヘテ居ナイノデア
リマス、統制令ノアル内ハ國民ハ其ノ
統制令ニ從フベキモノノデト云フ考デ居
リマシテ、偶々サウ云フコトガアツテ
モ問題ハ起ラヌカラ、自然ニ放置サレ
ルト云フヤウナ現狀ニナツテ居ルノデ
アリマスルガ、是ハ問題トナレバ矢張
リ罰則ノ規定ニ嚴重ニ觸レル譯デゴザ
イマス

○原案一君 私ハサウ云フコトガ罰則
ノ所ヘ出ナイヤウニ、法律ガ能ク行ハ
レルヤウニト云フ意味デゴザイマスネ、
此ノ今ノ處デハモウ一ト所デヤツテ居
ルノダカラ宜イダラウト云フヤウナコ
トデ、偶々ヤツテ居ルノデト云フノガ
實際デハナイカト思フノデアリマスカ
ラ、ソレハ統制令ガアル間ハイケンナ
イノデト云フコトヲ明示サレバ、矢
張り地主モシナイデアリマセウシ、家
主モ矢張り無理ナコトヲ言ハナイト云
フコトニ落著クノデハナイカト思フノ
デアリマスカラ、其ノ所ノ方針ヲハツ
キリ示シテ罰則コトガ必要デハナイ
カ、今日ノ實情カラ言ヘバ、サウ云フ
コトガ必要デハナイカト云フコトヲ感
ジマスノデアリマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 御答ヘ致
シマス、現實ノ問題トシテ原委員ノ仰
セノヤウナコトハ起ツテ居ルシタア
リマス、併シ政府トシテハモウ既に法
令ヲ公布シタ以上ハ國民ハ之ニ準據ス
ベキデト云フコトデアリマシテ、時ニ
更ニソレニ準據シロト云フヤウナコト
ヲ特別ニ指示スルコトハ、是ハ致シタ
クナイノデアリマス、現實ノ問題トシ
テモ大ツビラニヤツテ居ルノデハナイ

ノデシテ、是ハ我々ノ知ツテ居ル範圍
ニ於キマシテモ、偶々サウ云フコトヲ
聞クノデアリマスルガ、誰モ彼モヤツ
テ居ルト云フ筋合ノモノデヤナイト考
ヘテ居リマス

○侯爵東鄉彪君 私人ノ方ノ區デハ去年
ノ四月ニ家屋ノ強制疎開ガゴザイマシ
テ、其ノ跡ニ區役所ガ獎勵ヲシマシテ
蔬菜ヲ作レ……然ル處其ノ時ニハ必要
ガ生ジタ場合ニハ何時デモ明渡ス、斯
ウ云フ條件ノ下ニ栽培シツ、アツタノ
デアリマス、處ガ五月二十三日、二十
五日ノ空爆ニ依リマシテ日黒區ニハ戰
災地モ相當ニ出來マシタ、其ノ跡地モ
矢張り蔬菜ノ栽培ガ獎勵サレタ、然ル
處此ノ四月ニナリマシテ栽培者ニハ土
地ノ使用料ヲ課セラレマシテ、四月ニ
前年度分トシテ額ハ能ク記憶シテ居リ
マセヌガ、確カ一坪五錢位デ區役所カ
ラノ徵稅令ニ依リマシテ使用料ヲ納メ
タ、ソレデ初ハ返ス積リデ栽培シテ居
ツタノデスガ、使用料ヲ取ラレタモノ
デスカラ、今後土地ハズツト使ヘルノ
デト云フ風ニ解釋シテ居ル者モアルヤ
マデアリマスケレドモ、若シ此ノ法案
デモ出來マシテ何カソコ問題ガ起キ
マシタ時ニハドウ云フ風ニ取扱ハレル
ノデアリマセウカ、又其ノ栽培ヲ止メ
テ賃ヒタイト言ハレタカラ六箇月以內
ニ立退クトスレバ、其ノ間ノ使用料ト
云フモノハ拂ハナケレバナラナイノ
カ、其ノ邊ヲ承リタイ

○政府委員(奥野健一君) ソレハ實際
權利關係ガドウ云フ風ニナツテ居リマ
スカ、詳シク御伺ヒシナイトチヨツト
御答ヘ申上ガ兼ネマスケレドモ、ソレ
ハ疎開跡地ノ所有權ガ買收力何カセラ
レタノデゴザイマス

ンデゴザイマシテ、土地ノ持主ト栽培
者トハ直接何等交涉ハシテ居リマセ
ヌ、區役所カラ獎勵サレテ無償デ栽培
シテ居リマシタガ、初ハイツ何時立退
キヲ命ゼラレタモ立退ク覺悟デ居リマ
シタ、處カ今度使用料ヲ確カ坪五錢ダ
ト思ヒマスガ、既往ニ遡ツテ去年十月
カ十一月カラ三月末日迄ノ分ヲ四月ニ
區役所ノ令書ヲ拂ツテ居ル……

○政府委員(奥野健一君) ソレハ恐ラ
ク疎開ノ關係ヲ解除シテ、區役所或ハ
都カラ所有者ニ返還スルト云フコトニ
ナツタ場合ニハ本法ノ適用ヲ受ケタル
コトニナルト思ヒマス

○侯爵東鄉彪君 其ノ場合ニ六箇月間
ノ使用料ハ矢張り拂ハナケレバナラナ
イモノデセウカ

○政府委員(奥野健一君) 都カラ所有
權ヲ返シテ所有者ノ所有ニ移ツテシマ
フト云フコトニナリマス、都トノ關
係ハナクナルト思フノデス

○中島德太郎君 此ノ十四條ノ但書ハ
チヨツト私ニ意味ガ取リニクイニデス
ガ、モウ一度御聽カセ願ヒタイト思ヒ
マス

○政府委員(奥野健一君) 是ハチヨツ
ト分リニクイヤウナ書キ方ニナツテ居
リマスガ、十四條ノ本文ニ於キマシテ
ハ、罹災建物ガ滅失シタ當時ノ其ノ建
物ノ借主、或ハ疎開建物ガ除却セラレ
タ當時ノ建物ノ借主ハ、自分デ其ノ借
地權ノ設定ヲ受ケルト云フヤウナ實力
ノナイ者ハ、其ノ燒跡ニ前ノ借地權者
ナリ、或ハ所有者ガ家ヲ建ツタ場合ニ
セメテ先借權ヲ認メテ、前ノ住居ニ居
住ヲ保護シテ行カウト云フ規定デゴザ
イマシテ、普通ノ場合ハ其ノ燒ケタ當
時ノ借主ガ今度換地ノ上ニ建テラレタ
建物ノ上ニ先借權ヲ持ツト云フコトニ

ナツテ居ルノデアリマス、處ガ罹災建
物ノ敷地ノ上ニ一遍建物ガ築造セラレ
マシテ、更ニ其ノ敷地ガ換地處分ニ依
ツテ、即チ都市計畫法ニ依リマシテ換
地處分ニ附セラレマシテ、其ノ換地ノ
上ニ更ニ建物ガ建テラレタト云フ場合
ノ其ノ換地ノ上ノ建物ノ對シテドウ云
フ風ニ先借權ガアルカト云フ問題ニ關
スル事情ガ但書ノ規定デアリマシテ、
此ノ場合ニ矢張り其ノ一番初ノ燒ケタ
建物ノ借主ガ換地ノ上ニ建ツタ建物ニ
モ先借權ハアルノデアリマスガ、其ノ
途中ノ前ノ燒ケタ建物ノ敷地ノ上ニ建
テラレタ建物ノ最後ノ借主デナイ時ハ
其ノ換地ノ上ノ建物ニ先借權ガ及ンデ
行カナイ、即チ初ノ罹災當時ノ借主ガ
モウ其ノ土地ニ居ナクナツタ其ノ途中
ニ前ノ燒ケタ建物ノ敷地ニ建テラレタ
建物ニ外ノ者ガ入ツテ、今度更ニ換地
ノ上ニ建物ガ建テラレタト云フ場合ニ
ハ、モウ既に一番初ノ罹災建物ノ借主
ハ一旦其ノ土地カラ、縁ガ切レテ居リ
マスカラ、其ノ者ハ換地ノ上ノ建物ニ
ハ先借權ガナイ、即チ飽ク迄モ最初ノ
罹災シタ借主ヲ保護シヨウト云フ建前
デズツト續イテ居ナケレバ、其ノ敷地
ノ上ノ建物ノ最後ノ借主ト云フコトニ
ナツテ居ナケレバ更ニ換地ノ上ノ建物
ニ先借權ガナイ、此ノ點ハ實ハ震災當
時ノ借地借家臨時處理法ノ場合ト多少
建前ガ違ツテ居リマシテ、前ノ法律デ
ハ其ノ場合ニ人ガ違ツテ居ツテモ「バ
ラック」ノ最後ノ借主デアレバ、一番
初ニ燒ケタ當時ノ借主デナクテモ其ノ
燒跡ニ建ツタ「バラック」ノ借主デアレ
バ、矢張り換地ノ上ニ建ツタ建物ニ先
借權ガアルト云フ風ニナツテ居ツタノ
ヲ改メマシテ、飽ク迄モ罹災當時ノ借
主ヲ保護スルト云フ建前デ、途中デ其

主ヲ保護スルト云フ建前デ、途中デ其

ノ者其處カラ離レテシマツタ時ハ先
借權ガ換地ノ上ノ建物ニハナイト云フ
建前ニ致シタノデアリマス、廻リクド
クナツテ居リマスガ、趣旨ハサウ云フ
趣旨デアリマス

○中島徳太郎君 只今ノ御説明デ略々
分リマシタヤデアリマスガ、之ヲ具
體的ニ御尋ネシマスト云フト、疎開
デ除却セラレタ建物ニ居ツタ前ノ借主
ガ立退イテ行ツテシマツタ後ハ、今度
換地ニナリマシタモノニ建テタ者ガ最
後ニ、借主ト云フコトニナル譯デアリ
マスガ、モウ一遍申上ゲマス、疎開
ノ爲ニ建物ガ除却サレマス、除却サ
レタ同時ニ借主ハ立退イテシマウテ
居リマスネ、其ノ土地ニ他ノ者ガ來テ
換地ニナツタ所ニ建物ヲ造ツタ場合
ニ、是ハ前ノ者ニハ權利ハナイト云フ
コトヲ此ノ但書ハ意味シテ居ル言葉ト
承知シテ宜イノデスカ

○政府委員(奥野健一君) 其ノ一番初
ノ疎開當時ノ借主ガ何處カヘ行ツタ場
合ニ、其ノ疎開ノ敷地ノ上ニ第三者ガ
家ヲ建ツタト云フ場合ニハ、其ノ敷地
ノ上ニハ先借權ヲ持ツ譯デアリマス、
尤モ是ハ貸家トシテ建ツタ場合ダケノ
話デアリマシテ、自分ノ住宅トシテ建
ツタト云フヤウナ場合ニハ、勿論サウ
云フ申出ガアツテモ之ヲ拒ムコトハ正當
ナ事由トナリマスカラ、十分此ノ場合
ニハ拒ミ得ルノデアリマシテ、大體ハ
貸家トシテ建ツタ場合ニダケ前ノ借主
ガ其ノ貸家ニ先借權ヲ持ツト云フ建前
ニナリマス

○中島徳太郎君 モウ一遍伺ヒマス
ガ、貸家ノ除却セラレタ跡ニ又貸家ヲ
建テタイト云フ時ノ例ヲ御話ニナリマ
シタガ、今度貸家ト云フモノガモウ除
却セラレマシテ何モナクナツタノデア
リマスカラ、土地ダケ殘ツテ居ル所
ニ、前ノ借主ハ家ガナイノデスカラ居
ラヌコトニナル、今度其ノ土地ノ空イ
タ所ニ他ノ者ガ來テ土地ヲ借りテ家ヲ
建テタ時ニハ、前ノ借主ハ其ノ權利ノ
關係ハナイノデアリマスガ

○政府委員(奥野健一君) 其ノ換地ノ
場合デスカ

○中島徳太郎君 貸家ガナクナルカラ
自然借主ハ居ラナクナリマスネ、土地
ダケ殘リマセウ、其ノ土地ノ殘ツタ所
ヲ、今度其ノ土地ヲ借りマシテ住居ス
ル者ガ自分デ家ヲ建テル場合デスカ、
借主ガ貸家ヲ造ラズニ土地ヲ借りテ建
物ヲ造ツタ場合、其ノ場合ニハドウナ
リマスガ、嘗テアツタ家ト云フモノハ
疎開デ飛シデシマウテ居リマスカラ無
クナツテ居リマセウ

○政府委員(奥野健一君) 其ノ敷地ニ
建ツト云フノハドウ云フコトデスカ

○中島徳太郎君 市ナラ市ノ方デ借り
テ居ルモノガ今年ノ三月カデ済ンデシ
マウテ居リマシテ、其ノ跡ヘ建テタモ
ノデスカ

○政府委員(奥野健一君) ソレハ前ノ
所有者ニ返還ニデモナツタ譯デアリマ
スカ

○中島徳太郎君 返還トハ……
○政府委員(奥野健一君) 疎開ヲ解除
シテ、ソレヲ東京都ガ若シ所有權ヲ持
ツテ居レバ、前ノ所有者ニ返還スルト
カ、或ハ東京都ガ借地權ヲ持ツテ居ル
場合ニハ、借地權ヲ解除シテ地主ニ返
ストカ云フヤウナ關係ニナルノダラウ
ト思ヒマスガ、其ノ上デ地主カラ更ニ
其ノ敷地ヲ借受ケテ建ツタト云フ風ナ
コトニナルノデゴザイマスガ

ナツテモ建物ハ除却シテシマツタ、
後ノ土地ハ其ノ儘殘ツテ居リマス、市
ノ方ガ今年ノ三月迄ハ貸買ヲ與レテ居
リマス、三月以後ハモウ與レヌコトニ
ナツテ居リマスガ、地面ト云フノハ自
然コチラニ戻サレタモノト解シテ宜イ
モノト思ヒマス、ソレデスカラ其ノ土
地ヲ貸シマシテ、第三者ガ其ノ上ニ建
物ヲ作ツタト云フ場合ニ疎開前ノ借主
トノ關係ガ何カアリマスガ、アリマセ
ヌカ、但書ハサウデナイト思フノデア
リマスガ……

○政府委員(奥野健一君) 其ノ場合ニ
適法ニ其ノ敷地ノ上ニ家ガ建ツタト云
フ場合ニハ十四條ノ本文デ前ノ借主ハ
矢張り其ノ建物ニ占有權ヲ申出デルコ
トガ出來ルノデアリマス、唯其ノ場合
ニ先程申シマシタヤウニ、ソレハ自分
デ使ハナケレバナラナイノダト云フ事
情ガアレバソレヲ拒ムコトガ出來ルト
云フコトニナリマス、但書ハサウデナ
クテ其ノ敷地デヤナクテ換地ノ上ニ家
ノ建ツタ場合ニ其ノ換地ノ建物ニ占有
權ガアルノハ一番初ノ借主デナケレバ
ナラス、而モ敷地ノ上ニ建ツタ建物モ
借主デアツタト云フ其ノ土地トノ關係
ガ續イテ居ル者ダケガ此ノ換地ノ上ノ
建物ニ對シテ占有權ヲ認メテ行カウト
云フノデアリマス

○委員長(子爵高木正得君) ソレデハ
大體時間モ參リマシタカラ本日ノ委員
會ハ是デ散會致シタイト存ジマス、就
キマシテハ來週ノ月曜日十五日ノ午前
十時カラ本委員會ヲ開ク豫定ニシテゴ
ザイマスカラ左様御了承願ヒマス、本
日ハ是デ散會致シマス

午前十一時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵高木 正得君

副委員長 男爵肝付 兼英君

委員 侯爵東郷 彪君
侯爵嵯峨 實勝君
子爵森 俊成君
子爵大久保 俊尙君
霜山 精一君
男爵林 忠一君
男爵村田 保定君
男爵田 豐次君
竹下 泰一君
原 泰一君
中島徳太郎君
作間 耕逸君

國務大臣 木村篤太郎君

政府委員 司法大臣 奥野 健一君

司法事務官 奥野 健一君

昭和二十一年八月五日印刷

昭和二十一年八月六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局